

我が社の取組公開します！

令和元年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」
受賞企業・事業所等の取組紹介

- | No. | 表彰企業・事業所・団体名（市町村） |
|-----|------------------------------|
| 1 | 株式会社 稲見建築設計事務所（青森市） |
| 2 | 株式会社 十和田中央モータースクール（十和田市） |
| 3 | ふくし英数教室（青森市） |
| 4 | 和電工業株式会社（弘前市） |
| 5 | 社会福祉法人たいよう福祉会 柳町ひまわり保育園（むつ市） |
| 6 | 社会福祉法人 緑風会（平川市） |
| 7 | 株式会社 五所川原エフエム（五所川原市） |
| 8 | みちのく興業株式会社（八戸市） |
| 9 | 株式会社 ヴァンラーレ八戸（八戸市） |
| 10 | 有限会社C'sファクトリー（むつ市） |
| 11 | 株式会社 小山内バッテリー社（弘前市） |
| 12 | 社会福祉法人 若菜会（五所川原市） |
| 13 | JICA東北（青森市） |
| 14 | エステサロンAnje（十和田市） |
| 15 | 城東電気株式会社（弘前市） |
| 16 | 株式会社 今工務所（五所川原市） |
| 17 | 幼保連携型認定こども園 堀越こども園（弘前市） |

1 株式会社 稲見建築設計事務所（青森市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験》

現場監理とCAD演習を体験します。

- H30 青森市立油川中学校 (4)
- H29 青森市立筒井中学校 (4)
- H29 青森市立浦町中学校 (4)
- H29 青森市立三内中学校 (3)

《出前授業》

○市民センターでのお仕事体験

ストロータワーづくりなどを通して建築構造を学びます。体験後には「子ども建築士免許」を交付しています。

- H31 西部市民センター (100)
- H30 まちなかキッズ共和国 (100)
- H29 青森市中央市民センター (40)

○中学生とのワークショップ

職場体験した子供たちとその保護者を対象に、事業所が新入社員に求めている人材などについて学びます。

- H30 青森市立油川中学校 (40)

○職業講話

建築と景観などをテーマに、建築士の仕事について講義します。

- H30 佐井村立佐井中学校 (50)
- H29 青森県立青森工業高等学校 (100)

◎平成21年度から各学校での職業講話や子ども向けのワークショップ、職場体験の受入を行っています。

2 目的、方針や社内の組織・体制

建築業の入職率が低いため、建築士のなり手が少ない状況です。さらに、子供たちだけではなく、学校の先生も大工と建築士の違いをあまり理解されていないことから、建築士という職業を知っていただき、建築士を目指す子供たちを増やすことを目的としています。当社では、従業員含めて全員が子供の教育支援活動に対応できるように努めています。



職場体験
(青森市立油川中学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

全国各地から建築関係の子供向け事業の情報収集を行い、常に新しい提案ができるようにしています。また、体験イベント等の結果のフィードバックがきたら、他県の同業種の企業と分析・討論し、より良い教育支援活動ができるように努めています。

【具体的な取組】

出前授業や体験活動では、一方的な情報提供とならないように、子供たちに質問を投げかけるなど、対話式やクイズ形式で実施しています。

職場体験では、プロが使う本物の機器を使って設計をしてもらい、体験後半では子供たちが設計した建物が実際に建築できるかを法律に照らし合わせ、実際に設計審査の模擬体験をしてもらっています。また、体験した子供たちには「こども建築士免許」の発行を行っています。

2 株式会社 十和田中央モータースクール（十和田市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《出前講習・出前講話》

全校生徒・全職員に対して自転車安全運転講習を行います。雨天時の場合は、自転車乗車ルールとマナーについての講話を行います。

H31 青森県立十和田工業高等学校 (515)

H30 青森県立十和田工業高等学校 (512)

H29 青森県立十和田工業高等学校 (500)

H29 おいらせ町立木内々小学校 (240)



自転車安全運転講習
(青森県立十和田工業高等学校)

2 目的、方針や社内の組織・体制

基本的には初心運転者の育成を行う企業となりますが、それと同時に地域の交通安全教育センターとしての役割も兼ねております。近年、交通事故の発生件数は減少傾向にありますが、ニュースで取り上げられるような大きな事故が多発している現状となっており、ルール以上にマナー等を考慮した教育が必要不可欠となっております。

一方、運転者以外にも非がある事故も増えており、交通事故の更なる減少を考えれば、運転する年齢以前の方々にも、ルールとマナーを考えて頂く教育が必要だと考えています。

3 工夫している点

【受け入れに際して】

事前に学校側の担当者と当社の担当で連絡を取り合い、その後現地で実際に話し合いを行います。基本的には、学校側から今回のテーマはどのような内容が良いのかを聞き取り、その内容に合う講習を心掛けています。実施に当たっては、当社担当で意思の疎通を図り、何度も予行練習を行い講習を行っておりますが、天候次第では、実技ではなく講義となりますので、講義に向けた素材の作成も同時に行っております。

学校側からの要望に応じた講習を行っておりますので、学校側からの感触は非常に高いです。

【具体的な取組】

幅広い年齢層で、数百名を対象とする講習が多いため、講習内容によって様々な手法を用いています。講習は、全員参加を基本としており、危険性と共に原因も含めて説明しています。また、対象が小学生の場合は、クイズ形式で生徒に質問したり、高校生の場合は、実際に自転車に乗車してもらったり、興味を引いて頂けるように工夫しています。一番反響があるのは事故の再現で、講習のテーマに沿って事例を実際に見てもらうのですが、「自信過剰の運転の危険性を考えることができた」「片手運転等の”ながら運転”の危険性を理解した」「事故事例を見て怖かった」など、生徒の皆さんの反応は非常に大きいです。

3 ふくし英数教室（青森市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《出前授業》

英語の先生や通訳の仕事について説明した後に、生徒の皆さんと英会話を楽しみながら先生役や通訳にチャレンジしてもらいます。

H30 青森市立浦町小学校
放課後子ども教室（10）

H30 青森市立大野小学校
放課後子ども教室（12）

※平成29年、平成30年、令和元年は、青森明の星短期大学・しんまちキャンパスで子ども英語教室（参加無料）の講師を務めました。

2 目的、方針や社内の組織・体制

小学校で英語が教科化された事もあり、いろいろな所から英語指導の依頼が多くなっています。教員免許や通訳案内士など、資格を持つ講師3名で地域貢献につながる重要な役割を担っていると実感し、全員が教育支援担当として活動しています。学校での出前授業も自己啓発と良い経験の積み重ねと捉えチャレンジしています。



職業体験「ゆめっこ教室」
（青森市立大野小学校）

3 工夫している点

【受け入れに際して】

放課後子ども教室の担当者との打ち合わせを行うなど、事前準備を大事にしています。また、生徒の皆さんに時間内で楽しんでいただけるように進行パターンを多数用意しています。実施後は、反省会を行い、次回の活動に生かせるように努めています。

【具体的な取組】

職業体験では、青森県教育支援プラットフォーム東青地区実行委員会が主催する「ゆめっこ教室『わくわくしごとたいけん』（放課後子ども教室共催）」において、英語の先生や通訳の仕事について紹介し、英会話や英語の歌、ゲームを取り入れるなど、生徒が関心をもち、楽しめるように工夫しています。

4 和電工業株式会社（弘前市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験》

電気・通信・消防設備工事に係る専門技術のほか、経理・庶務・設計業務など、企業全体のしくみについて体験します。また、建築工事現場の見学や電気工事の体験を行います。

H30 藤崎町立明德中学校 (6)

H30 青森県立弘前工業高等学校 (12)

《出前授業》

○高校生と地元企業の理解促進事業

地域の工業高校生や企業経営者、若手従業員等が学校と企業を相互に訪問し、「対話」を通じて県内企業への就職促進を図ります。

H29 青森県立弘前工業高等学校 (245)

H29 青森県立五所川原工業高等学校 (140)

2 目的、方針や社内の組織・体制

- ① 働く人の姿を見たり話を聞いたりすることにより、働くことについて考える機会を与えたい。
- ② 働くことによって社会の一員としての役割を果たしているということを理解し、望ましい勤労観、職業観を培わせたい。
- ③ 職場体験後のまとめの活動を通し、いろいろな職種に関心を高める機会としたい。
- ④ 仲間と協力して目標を達成する力を培わせたい。



職場体験
(藤崎町立明德中学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

受入計画書を学校側へ提出し、受け入れ時の相互の合意形成を図った上で、計画に沿って実行しています。終了後は、学校側から参加した生徒たちのご意見を伺うように努め、その結果を社内へ周知し、次回への改善とするほか、社員自身の成長に役立てています。

【具体的な取組】

電気設備工事、通信設備工事、消防設備工事を行う会社なので、専門技術だけを伝えがちになりますが、企業が組織としてどのように運営しているのか伝えられるように、総務の経理業務や庶務業務のほか、設計業務など、工事以外の業務がどのように機能しているか、そしてお客様に必要とされる仕事をどのように提供しているのかなど、企業全体のしくみや組織の在り方について実際に見て体験していただき、生徒が理解しやすいように努めています。

5 社会福祉法人たいよう福祉会 柳町ひまわり保育園（むつ市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験》

2日間にわたり保育園の仕事を体験します。

- R1 むつ市立大畑中学校 (1)
- H30 むつ市立むつ中学校 (3)
- H30 青森明の星短期大学 (1)
- H29 むつ市立むつ中学校 (6)

《出前授業》

○職業体験学習「ユメココ教室」

保育士の仕事内容の説明のほか、おむつ交換やおんぶの仕方、エプロンシアターなどを体験します。

- R1 むつ市立第一田名部小学校 (20)
- H30 むつ市立第一田名部小学校 (20)
- H29 むつ市立第一田名部小学校 (20)

◎平成29年度以前から、職場体験や職業体験学習「ユメココ教室」での出前授業、インターンシップ、保育士養成校の実習を受け入れています。

2 目的、方針や社内の組織・体制

保育士の仕事を理解してもらうために職場体験や出前授業等に協力するとともに、職員の自己研鑽の機会として、また当園を卒業した子供たちの成長した姿を見る機会として、当法人としてもできるだけ教育支援活動への協力ができるように体制を整えています。



職業体験学習「ユメココ教室」
（むつ市立第一田名部小学校）

3 工夫している点

【受け入れに際して】

担当者が気付いたことや反省点を職員間で共有できる機会を設定したり、学校から届いた子供たちの礼状やアンケート結果を参考にして次回に取り入れるようにしています。

【具体的な取組】

出前授業では、青森県教育支援プラットフォーム下北地区実行委員会が主催する小学生対象の職業体験学習「ユメココ教室」において、子どもたちがわかりやすいように、体験する時間（おむつ交換、おんぶの仕方、エプロンシアター、パネルシアター等）を設けたりするなど、講話の組み立てを工夫しています。

職場体験では、実際の保育のためにいろいろな準備や苦勞があり、園児の成長の様子から喜びややりがいが見られること伝えるように心掛けています。また、インターンシップ等の受け入れを毎年行っており、希望者も多く、とても楽しいと好評です。

6 社会福祉法人 緑風会（平川市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験・交流会》

○職場体験

施設の見学や車椅子の乗車体験等を通して高齢者及び介護職についての理解を深めます。

- R1 平川市立竹館小学校 (15)
- R1 平川市立尾上中学校 (3)
- R1 平川市立平賀西中学校 (3)
- H30 平川市立柏木小学校 (29)
- H30 青森県立柏木農業高等学校 (10)
- H30 東奥学園高等学校 (2)
- H30 平川市立竹館小学校 (21)
- H30 平川市立平賀西中学校 (2)
- H29 平川市立柏木小学校 (29)
- H29 平川市立平賀東中学校 (3)
- H29 青森県立黒石高等学校 (2)
- H29 青森県立柏木農業高等学校 (15)
- H29 平川市立平賀西中学校 (2)
- H29 東奥学園高等学校 (9)
- H29 平川市立竹館小学校 (17)

○交流会

演劇発表会や会話、ミニゲーム、花壇の製作、ミニ盆栽づくりなどを通して利用者との交流を深めます。

- H30 平川市立竹館小学校 (計34)
- H30 平川市立柏木小学校 (計58)
- H30 青森県立柏木農業高等学校 (30)
- H29 平川市立竹館小学校 (17)
- H29 平川市立柏木小学校 (29)
- H29 青森県立柏木農業高等学校 (58)

○福祉体験キャンプ

施設に1泊して、施設見学や介護に関する講義を行います。

- H30 平川市内小学校 (計60)
- H29 平川市内小学校 (31)

2 目的、方針や社内の組織・体制

当法人の理念「感謝・思いやり」「自己実現」「信頼・尊重・協働」を軸に、高齢者の心身の変化や介護に関する知識を、日常生活の中にあるものと捉えてもらう機会となるよう努めています。また、介護に関する諸問題は、地域の中で実際に起きていることという理解をして頂きながら、生徒や児童の皆さん自身に「自助」「共助」の意識を醸成してもらえよう、また、福祉教育の一助となるよう活動を行っています。



職場体験
(平川市立竹館小学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

相互の担当者間で事前の打ち合わせを緊密に行い、福祉の理解等の目的を確認し、活動内容についても細かく話し合い、当日の流れがスムーズに進むよう心掛けています。生徒や児童と関わった利用者の表情や感想から満足度を確認する一方で、生徒の動きを振り返り、支援に際して配慮すべき点がなかったか考察し、評価と課題を明確にして次回の受け入れに活かしています。

また、事後のアンケートや頂いた感想から、次回の計画にむけてのフィードバックを行い、改善に取り組んでいます。

【具体的な取組】

生徒や児童に分かりやすく伝えるため、資料の説明が必要な場面では、パワーポイントやDVDを使用し、動きがあるものを視覚的に訴えるよう工夫しています。

施設内の見学時は、ただ話を聞くだけでなく、実際に車椅子に座ってみたり、体感してもらうことによって、感覚で理解を深めてもらえるように心掛けています。ただ話を聞いただけにならないように、生徒や児童の思い出として残るように努めています。

7 株式会社 五所川原エフエム（五所川原市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験》

アナウンス研修やCM制作、番組制作などを実際に体験します。

H30 五所川原市立五所川原第一中学校 (3)

H30 五所川原市立五所川原第四中学校 (3)

H29 五所川原市立五所川原第三中学校 (3)

H27 つがる市立柏中学校 (3)

《出前授業》

○職業講話

CMや番組制作に係る構成・収録・編集作業など、放送に至るまでの業務について説明します。

H29 五所川原市立五所川原第一中学校

《職業体験》

虫と火まつり親善大使として活動報告を行うために生放送へ出演します。

R1 青森県立五所川原農林高等学校他 (12)

H30 青森県立五所川原農林高等学校他 (12)

H29 青森県立五所川原農林高等学校他 (12)

2 目的、方針や社内の組織・体制

職場体験や職業講話などの教育支援活動を通して、地域活性や文化活動の啓蒙を支える重要な役割を担うとともに、放送に至るまでの社員の研修の様子を生徒へ伝えていきます。また、担当社員のスキルアップの一面も兼ねています。



職場体験
(つがる市立柏中学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

口頭での説明だけではなく、実際に生徒の皆さんに番組構成を考えていただき、収録や編集作業を行ってもらうようにしています。また、後日いただくアンケートを基に、次回の改善を行っています。

【具体的な取組】

ラジオCMの原稿づくりをはじめ、CMや番組制作を体験していただくほか、生放送への出演など、実際の放送を体験していただいています。

8 みちのく興業株式会社（八戸市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験》

ビジネスマナーや電話対応訓練、避難訓練、工事現場見学、工場作業などを体験します。

R1 むつ市立大湊中学校 (1)

H30 青森県立八戸高等支援学校 (1)

H29 八戸市立根城中学校 (4)

◎平成20年度から職場体験学習「さわやか八戸グッジョブウィーク」の中学2年生への事前講話や大学生のインターンシップを受け入れています。

2 目的、方針や社内の組織・体制

「建設業を通じて社会に貢献すること」の大切さと、「モノづくりの世界に興味を持って頂くこと」をポイントとして指導しております。また、企業活動の現場を体験する中で、プライドを持ってお客様の為に働いている社員の姿などを見ていただきたいと考えています。



職場体験

(青森県立八戸高等支援学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

先生や生徒本人と事前に打ち合わせを行い、実習項目や注意事項などの確認をしています。また、事前に生徒から目標を設定していただいています。

実習終了後は、自己評価が記入された評価表について、弊社担当者が確認を行い、学校へ報告をしています。

【具体的な取組】

複数の生徒を受入れる場合は、当日の当番を決めて実習を行うなど、メンバー内のチームワークを大切にしています。

ビジネスマナーの実習では、資料を中心に指導を行いますが、電話対応訓練では、可能な範囲で弊社の代表電話を使用して体験学習を行っています。また、生徒が建設業についての理解を深めやすいようにDVDを放映して紹介しています。

できるだけ可能な範囲で工事現場の見学を行ったり、工場作業の体験を実施しています。

9 株式会社 ヴァンラーレ八戸（八戸市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《出前授業》

○出前教室・職業人講話

Jリーグに所属するプロサッカー選手によるサッカー教室や職業人講話を通してサッカーの普及と発展、そして「夢や目標を持つことの大切さ」を伝えています。

- R1 八戸市内及び近隣の小中高生 (53)
- H30 東北町立水喰小学校 (17)
- H30 十和田市立藤坂小学校 (84)
- H30 三沢市内小学校6年生 (361)
- H30 十和田市立深持小学校 (16)
- H30 十和田市立洞内小学校 (22)
- H30 南部町立南部中学校 (46)
- H30 おいらせ町立木内々小学校 (61)
- H30 八戸市立明治小学校 (21)
- H30 六戸町立六戸中学校 (38)
- H30 八戸市立柏崎小学校 (82)
- H30 階上町立道仏小学校 (80)
- H30 むつ市立川内小学校 (32)
- H30 八戸市立下長小学校 (280)
- H30 階上町立金浜小学校 (14)
- H30 南部町立杉沢小学校 (11)
- H30 八戸市立白銀小学校 (78)
- H29 東北町立水喰小学校 (11)
- H28 七戸町立城南小学校 (48)
- H28 十和田市立南小学校 (101)
- H27 十和田市立西小学校 (53)

2 目的、方針や社内の組織・体制

本クラブは、「地域に根ざしたサッカークラブ」を理念として活動しており、サッカーを通して地域の方々や子供たちと触れ合いをもつことで、サッカーの普及・発展を促しています。また、Jリーグに所属するプロサッカー選手が出前教室で「夢や目標を持つことの大切さ」を子供たちへ伝えていくことで、地域の子供教育の一端を担う役割も持つと考えています。



職業人講話
(八戸市立下長中学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

実際に出前授業で行う内容をクラブ職員に対して事前にプレゼンし、改善点等を仰ぎ、質の向上に努めています。また、広報担当が当日の生徒の反応などを記録し、次回実施時の改善へとつなげています。

毎回同じ内容でサッカー教室や職業講話を実施するのではなく、年代等はもちろん参加人数に合わせて様々なバリエーションを準備するとともに、クラブのホームページ及びSNSへ取り組みについての事前予告や事後報告などの情報発信を行っています。当日は、新聞やテレビ等のメディア関係者に取り上げていただいています。

【具体的な取組】

職業講話では、単に自身の経験や体験を話すのではなく、生徒と対話をしながら進めるように心掛けています。

実技では、子供たちがサッカーボールに触れる機会を数多く作ることで「楽しい」や「もっとやりたい」という体験や意欲を掻き立てるようなルール等を作っています。

10 有限会社C'sファクトリー（むつ市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験・インターンシップ》
パソコンの組み立てや修理、訪問設定など様々な業務を体験します。
H30 青森県立むつ工業高等学校 (2)

《出前授業》
○職業体験学習「ユメココ教室」
小学生を対象に、IT関連の仕事についてクイズ形式で説明します。
H30 むつ市立関根小学校 (21)

○情報モラル教室・携帯電話安全教室
将来、仕事のツールとしても欠かせないスマートフォンについての使い方やその危険性について講義します。
R1 むつ市立大畑中学校 (135)
R1 風間浦村立風間浦小学校 (17)
R1 むつ市立奥内小学校 (23)
R1 むつ市立川内中学校 (50)
H31 佐井村立牛滝小学校 (5)
H31 風間浦村立風間浦中学校 (30)
H30 佐井村立佐井小学校 (20)
H30 風間浦村立風間浦小学校 (24)
H30 むつ市立川内小学校 (39)
H30 風間浦村立風間浦中学校 (30)

○集団就職講話
就職するにあたっての心構えなどについて講義します。
H31 青森県立川内高等学校 (20)
H30 青森県立川内高等学校 (20)

○クイズで学ぶインターネット
小学生及びその保護者を対象として、インターネットの世界についてのセミナーを行います。
H30 小学生及びその保護者 (100)

2 目的、方針や社内の組織・体制

生徒の職業選択の一助になればという思いと、地域に根ざした企業であるため、地域の学校を通じて社会貢献ができればと思い、インターンシップなどの受け入れを行っております。全社員で、より良い内容を考え、体験させるようにしています。



職業体験学習「ユメココ教室」
（むつ市立関根小学校）

3 工夫している点

【受け入れに際して】

インターンシップ受入れの際は、仕事内容をできる限り体験してもらえるように、パソコンの組み立てや修理、訪問設定など、様々な業務内容を全社員で検討して行っています。

【具体的な取組】

出前授業では、青森県教育支援プラットフォーム下北地区実行委員会が主催する小学生対象の職業体験学習「ユメココ教室」において、IT関連の仕事内容について生徒が理解しやすいようにクイズ形式やアイスブレイクなどを取り入れ、子供たちの集中力が途切れないように工夫しています。

職業体験では、パソコンの組み立てや修理、訪問設定など、様々な業務について体験してもらえるように実施しています。

講演内容は、常に最新の情報を提供できるよう情報収集に努めています。また、できるだけ記憶に残るように、協調したい部分と参考までに知って欲しい部分を分け、話し方や時間の割り当てなどを工夫しています。

11 株式会社 小山内バッテリー社（弘前市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《出前授業》

○情報モラル教室

生徒及び保護者を対象に、スマートフォンやインターネットの正しい使い方やその危険性、健康に与える影響などについて説明します。

- R1 弘前市立新和小学校他2校 (80)
- R1 弘前市立和徳小学校 (70)
- R1 弘前市立新和小学校 (50)
- R1 弘前市立第一中学校 (600)
- R1 弘前市立岩木小学校 (200)
- H31 弘前市立千年小学校 (70)

2 目的、方針や社内の組織・体制

インターネットやスマートフォンが普及し、これからますます発展していくことが予想される中、使用する側の情報モラルが欠如している事件や問題が生じています。これから使用が増えていくであろう小・中学生に対してトラブルの事例やその対策について伝える活動をしています。販売店のスタッフが説明することにより、実際に相談に来るケースなどの事例を紹介しながら説明しています。



出前授業（弘前市立第一中学校）

3 工夫している点

【受け入れに際して】

学校で実際に起こったトラブルをお伺いし、重点的に説明を行っています。また、先生方と打ち合わせを行い、学校、学年などの要望に合わせたものにするよう工夫しています。学校によっては、感想文などを記入していただき、生徒んの感じた内容や希望を取り入れながら次回への改善点としています。

【具体的な取組】

出前授業では、情報モラル教室を通してインターネットやスマートフォンなどのICTの活用や、お店に相談に来たお客様のトラブルを紹介しながら、その対策などを説明しています。また、クイズ形式で質問を投げかけたり、動画を見て集中が途切れないような工夫もしています。

12 社会福祉法人 若菜会（五所川原市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験・インターンシップ》
介護の仕事の大切さとやりがいを伝えていきます。

R1 五所川原市立東峰小学校 (40)

H30 五所川原第一高等学校 (2)

《出前授業》

○職業講話

介護の仕事や意義について40分コマの講義を行います。

H30 五所川原市立五所川原第一中学校 (70)

H29 五所川原市立五所川原第一中学校 (70)

○地元企業と学校のネットワーク会議

介護の仕事の内容などについてパネル展示を行い、高校生や先生方、参加者に説明します。

H31 五所川原第一高等学校 (150)

◎平成28年度から、地域における人材育成の一環として職業講話を行っています。

2 目的、方針や社内の組織・体制

少子高齢化の進展により、支援を必要とする高齢者がますます増えることが予想されます。その一方で、支える側の人材の確保が困難な状況になりつつあります。介護の仕事の大切さややりがいを伝えることにより、若い世代に介護の仕事に少しでも興味を持ってもらうことを活動の目的としています。また、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、私たち社会福祉法人ができることは何かを常に考えながら活動しています。



出前授業

(五所川原市立五所川原第一中学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

担当教員との事前の打ち合わせを密に行い、要望や質問等を事前に把握することに努めています。また、出前講座等の支援活動については、職員育成の観点から当方の担当者を固定化せず、インターンシップ等の受け入れについては、予め担当者を固定して支援活動を行っています。

【具体的な取組】

出前授業については、事前に提出された要望や質問に答える形で授業展開することを基本としています。

生徒や児童の興味を引くために、身近な問題から本題に引き込む工夫を行うとともに、現場の担当職員の生の声や思いを生徒に届けています。

13 JICA東北（青森市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《インターンシップ・訪問学習》

- H30 青森市立沖館中学校 (12)
- H30 青森県立青森商業高等学校 (5)
- H30 弘前大学 (1)

《出前授業》

○国際協力出前講座

JICA海外協力隊経験者やスタッフが講師となり、開発途上国での異文化体験やボランティア活動、国際協力、SDGs、グローバル社会が抱える諸問題などについてお話しします。

- R1 青森県立三沢高等学校 (250)
- H30 青森市立浦町小学校 (36)
- H30 十和田市立十和田湖中学校 (8)
- H30 大和山学園 松風塾高等学校 (60)
- H30 八戸工業大学第二高等学校 (256)
- H30 青森県立田名部高等学校 (210)
- H30 青森県立弘前工業高等学校 (733)

2 目的、方針や社内の組織・体制

JICAは、開発途上国・地域の経済、社会開発に貢献する開発協力の総合的な実施機関です。東北には途上国の開発に役立つであろう素晴らしい技術があり、東北出身のJICA海外協力隊を増やしていくためにも、JICA東北ではより多くの東北の皆様へ国際協力に目を向けていただくべく努力して参ります。JICA事業推進のため、JICAと地域を結ぶ窓口として、青森県に「JICA青森デスク」を設け、「国際協力推進員」を青森市に配置しています。



出前講座
(青森県立三沢高等学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

依頼元と事前に打合せを行い、内容のすり合わせをします。終了後は、依頼元、講師へアンケートを実施し、アンケート結果をもとに、より良い実施になるように改善しています。

【具体的な取組】

出前講座では、できるだけ青森県にゆかりのあるJICA海外協力隊出身の方にお話ししていただけるよう、OB・OGの組織である青森県青年海外協力協会などに講師依頼のお声かけをしています。体験談発表の際には現地の生活の様子がより分かるように写真や動画を使用しています。

出前講座や訪問学習では、一方的な話にならないよう、ワークショップ形式やクイズを取り入れ、児童、生徒、学生とコミュニケーションを図るようにしています。

世界の様々な課題は、自分たちの身近な生活も影響を及ぼしているということを伝え、国際協力を「自分ごと」としてとらえられるよう、具体例を用い工夫しています。

14 エステサロンAnje（十和田市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《出前授業》

○職業人講話

エステの仕事内容などの説明や、実際にオイルを使って手のマッサージを体験します。

H30 十和田市立南小学校 (73)

H30 おいらせ町立木ノ下小学校 (96)

H30 六戸町立六戸小学校 (42)

H29 十和田市立南小学校 (89)

H29 おいらせ町立甲洋小学校 (138)

H29 十和田市立藤坂小学校 (46)

H29 七戸町立城南小学校 (55)

H28 東北町立水喰小学校 (13)

2 目的、方針や社内の組織・体制

お客様の肌に直接触れ、外面的なケアと同時に内面的な部分のケアも行う仕事であることを体験を通じて子供たちに感じてもらい、エステの仕事についてより深い理解を持っていただく事を目的としています。

エステも昔と違い、より身近なものとして広まってきていますが、まだどんな仕事なのかあまり知られていません。直接人の肌に触れ、ケアをする仕事は大変な部分も多いですが、その分お客様から「ありがとう」という声を直接もらうことができる職業であることを、一人でも多くの子供たちに知ってほしいという思いで、教育支援活動に参加させていただいています。



出前授業
(十和田市立南小学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

相手に心地よく、嫌な気持ちにさせないように気を配ること、丁寧に触れるなど、相手を思いやる気持ちなど、仕事を通じて子供たちに伝えていきます。

使用するマッサージオイルの成分のアレルギー反応についての確認や、爪を必ず短く切ってきてもらうことなど、エステの仕事について、事前の打ち合わせでお伝えしています。

【具体的な取組】

エステの仕事内容や一日の流れなどを説明した後、実際にどんな物を使っているか体験させています。3～5種類ほどのアロマオイルを持参し、子供たちが気に入った香りのアロマを挙手してもらい、ルームスプレーにして香りがかぐことでどんな効果があるかなどを説明しています。その後二人一組または三人一組になり、交互にマッサージオイルを使用して手のマッサージを行い、受けた側の気持ちや、行った側の気持ちを発表させ、感想を聞く時間を設けています。

実際にマッサージを行うことで、大変さや喜んでもらえた嬉しさなど、言葉では伝えきれない部分を一人一人感じてもらえるよう工夫しています。

15 城東電気株式会社（弘前市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験・インターンシップ》

現場見学、高所作業車の試乗や模擬配線作業のほか、来客・電話対応、書類整理、データ入力などの事務作業を体験します。

R1 青森県立弘前工業高等学校 (2)

R1 弘前市立東中学校 (4)

H30 青森県立尾上総合高等学校 (8)

H30 板柳町立板柳中学校 (5)

H30 青森県立弘前工業高等学校 (2)

H30 S.K.K.情報ビジネス専門学校 (2)

H30 青森県立青森高等技術専門学校 (1)

H30 弘前市立東中学校 (3)

2 目的、方針や社内の組織・体制

私たちの仕事は、社会のインフラ整備や省エネ・快適な住環境づくり等、生活していくにあたり大事な役割を担っていると思っています。その仕事を体験しながら働く事の意義や将来の進路選択等、学生のキャリア教育に少しでも役立つことを考えています。

また、建設業の担い手育成につながるとも考えており、男女にかかわらず建設業界に少しでも興味を持ってもらいたいと思っています。



職場体験
(弘前市立東中学校)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

生徒の個性や興味に合わせながら実習を進めています。また、説明の際に専門用語は使用しないなど、分かりやすい説明となるように心掛けています。

【具体的な取組】

普段身近にある住まいや商業施設の電気・空調工事等を身近に感じてもらうように施工現場の見学を多くし、実際の仕事に触れる時間を長くしています。

16 株式会社 今工務所（五所川原市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験・インターンシップ》
現場監督や営業の仕事、大工の仕事を見学し、実際に現場で補助作業を行いながら仕事の流れを体験します。

R1 青森大学 (1)
H30 青森県立弘前高等技術専門学校 (1)
H30 青森県立弘前工業高等学校 (1)

《出前授業》

・高校生のための職業研究フェア
大工の実演を交えながら会社説明を行います。

R1 五所川原市内及び近隣高校生

2 目的、方針や社内の組織・体制

高齢化と入職者不足による大工職人の急激な減少に対する危機感のもと、今後地域工務店が競争力を発揮し、社会的地位を向上させるため、自らの「大工」育成が不可欠になっています。入職から3年間の大工育成をサポートし、4年目以降の大工職人としての人生設計「キャリア」の指針を示していきます。



職業研究フェア
(高校生対象)

3 工夫している点

【受け入れに際して】

専門用語がたくさんある職業のため、募集している職種がどういった仕事をするのか、少しでもわかりやすい言葉を使って説明・案内をしています。また、実際どのような仕事をしているのか見てもらうため、随時会社見学を受け付けています。

【具体的な取組】

現場監督・営業の仕事については、事務所自体が展示場を兼ねているので、事務所内の工法や素材等の説明、また、展示場があるので、事務所スタッフと一緒に素材や工法について説明をしながら見学してもらっています。

大工の仕事については、先輩大工から教えてもらいながら作業場の掃除や片付け、実際現場に行って補助作業をしながら仕事の流れを学んでもらっています。

17 幼保連携型認定こども園 堀越こども園（弘前市）

1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

《職場体験》

デイリープログラムやカリキュラムを基に、施設の取り組みや業務などを体験します。

※平成25年度から短期大学や専門学校、中学校の職場体験を受け入れています。



職場体験
(中学生対象)

2 目的、方針や社内の組織・体制

職場体験やインターンシップを通して、専門職の知識や能力を間近で経験し、こども園に興味・関心が持てるように魅力を伝えています。また、「安全・安心・親切・笑顔」をモットーに対応しています。

3 工夫している点

【受け入れに際して】

施設の取り組みやプログラム、業務等を学べるように、事前に打ち合わせやオリエンテーションを行い、スムーズに取り組めるようにしています。

必要な情報交換や内容確認を行い、質問等については、アドバイスを与えたり疑問点について答えています。また、各年齢に関わるように実施しています。

【具体的な取組】

実習や体験の指導・アドバイス等は、時間を設けて疑問点や取り組み方について親身にに関わり、また個別に担当を決めてデイリープログラムやカリキュラムを基に、一日の流れを指導しています。学生たちにとって、受け入れやすいような環境づくりに努めています。